

古典芸能鑑賞会



11月11日（木）は古典落語の芸術鑑賞会でした。

本物の噺家（はなしか）の方たちに来校していただき、本校講堂アカシヤホールで、立派にセットされた高座で繰り広げられる日本の伝統文化を堪能することができました。昨年新型コロナウイルス感染症拡大のため実施できなかった鑑賞会を企画会社さまのご好意により今年度実施していただき、さらに講堂内の密を避けるため、午前を3年生、午後を1・2年生に分けた2部公演としていただきました。

まずは「まくら」で会場の空気がしっかりあたたまり、本題の演目ではまさに言葉だけの芸に想像力を働かせ、みんなで大いに笑い、和やかな雰囲気にも包まれた一日を過ごすことができました。



江戸落語 「牛褒め」 春風亭昇也さん



英語落語「動物園」 桂かい枝さん



鏡味正二郎さん 色物【太神楽曲芸】



江戸落語「小間物屋政談」桂小文治さん



演じて下さった噺家の方たちも舟入生の素直な反応の良さに感心され、満足そうに会場をあとにされました。芸術の秋にこうした行事が開催できたことを感謝します。



生徒会長よりお礼と言葉と花束贈呈

生徒の感想より（抜粋）

【本日の古典芸能鑑賞会で一番印象に残ったことは何ですか】

- ・落語、英語落語が思っていたよりも理解しやすかったこと。曲芸の迫力。
- ・講演された方々のパフォーマンスすべて。
- ・楽しそうにされている姿を拝見してこちらも自ずとわくわくしていた。
- ・落語も演技(?)もそれぞれの個性が表れていて、皆さんの話し方がとても上手だったことです。
- ・桂かい枝さんの英語落語を初めて聞いたこと。
- ・「古典芸能」鑑賞会だから、堅苦しさを想像していたところ、想像を遥かに越えて現代人に受け入れられるような芸術性のあるものだったことに驚いた。
- ・海外での落語講演の様子。
- ・落語家さんは落語でないお話をされても面白いんだなあと思ったこと。他の学校に行かれたときのお話や昔の英語の教科書のお話のときにとっても笑ってしまった。
- ・腹筋が痛くなるほど面白くすごく楽しめてよかった。

